（別記）

令和８年度和寒町地域農業再生協議会水田収益力強化ビジョン

１　地域の作物作付の現状、地域が抱える課題

当該地域は、名寄盆地の最南端に位置し、稲作中心型、水稲・畑作・露地野菜を中心とした土地利用型農業、メロン、トマト、花卉など施設を導入した集約型農業など多様な経営形態となっている。また、水稲に変わる作物として、南瓜の作付けが拡大され、日本一の作付面積を背景にブランド化が進められてきた一方で、農業者の高齢化、後継者不足から農家戸数が減少し、１戸当たりの経営面積が増加していることを背景に、機械化・省力化が可能な作物の作付けが拡大し、連作や短期輪作が増加傾向にある。そのため、心土破砕等の湿害対策、土壌診断に基づく適正施肥や土壌改良材投入による土づくり、てん菜、小豆、馬鈴薯や地力増進作物の作付奨励による輪作体系の確立を図り、収量増加や品質向上の取り組みが必要である。

２　高収益作物の導入や転換作物等の付加価値の向上等による収益力強化に向けた産地としての取組方針・目標

〇適地適作の推進

寒暖差の大きい本地域において、メロンやトマトなどの園芸作物のほか、南瓜・キャベツのブランド化が図られており、気象条件を活かした特色ある産地としての推進を図る。

〇収益性・付加価値の向上

近年主食用米が減少しており、麦・大豆・そばなどの畑作物への転換が拡大していることから湿害対策や堆肥の施用、輪作の取組などによる生産性と品質の向上を図り、収益力と付加価値の向上を図る。

〇新たな市場・需要の開拓

高収益作物における加工・業務用などの新たな実需の開拓を図るとともに、拡大する畑作物の収量の安定化、品質の向上により新たな販路拡大を図る。

〇生産・流通コストの低減

直播栽培の実施や堆肥の施用、土壌診断の実施によって適正施肥による生産コストの低減を図るとともに、ブロックローテーションなど輪作体系の確立を図りながら作付けの団地化を推進する。

３　畑地化を含めた水田の有効利用に向けた産地としての取組方針・目標

〇地域の実情に応じた農地の在り方

前年度転作率が70.67％で、近年は常に７割近い圃場が転作されている。農業者数が減少する中、経営面積の拡大により麦や大豆の作付けが伸びている一方、地域の特産である南瓜やキャベツといった重量作物は収穫時や選果・集荷時の労働力不足により減少傾向にある。

これまで同様に水稲と畑作、露地野菜などの複合経営を維持するため、現状の水田面積は維持しつつ、地域の特産品を含む露地野菜を推進するため、効率的な作業が可能な畑作物も推進し、持続可能な農業経営を推進する。

また、60代以上の農業者が55.6％と高齢化が進むなか、作業効率が上がる円滑な農地の

集積を進めるため、地域計画の実践を図りながら中心経営体への農地の集約化を推進する。

○地域の実情に応じた作物・管理方法等の選択
　経営面積の増加に対応するため、地域特産品として付加価値が高い南瓜・キャベツや、麦・大豆、そば、てん菜、ばれしょ等に加え、労働生産性が高い子実用とうもろこしや省力化が図られる作物の導入を進め、新たな輪作体形の確立を進める。

○地域におけるブロックローテーション体系の構築
　水稲（水張り）を組み入れたブロックローテーション体系の構築へ、地域の課題を検証しつつ、関係機関と共に輪作体形や期間の検討を進める。

○水田の利用状況の点検方針・点検結果を踏まえた対応方針
　水稲（水張り）を組み入れない作付体系が数年以上定着し、畑作物のみを生産し続けている水田について、今後も水稲作付の見込みがないか現地確認等による点検、複数回にわたる聞き取りを実施した結果、令和４年度に 6ha、令和５年度は 850ha、令和６年度は 255ha、令和７年度は 83ha が畑地化された。
　また、関係団体の代表者を集めた意見交換会を開催し、ブロックローテーションや畑地化に向けた検討を進めており、今年度以降も水稲（水張り）を組み入れたブロックローテーション体系の構築、その他地域の課題を検証しつつ、関係機関と共に輪作体形や期間の検討を進める。

４　作物ごとの取組方針等

（１）主食用米
　米生産の目安に沿った作付面積の維持確保を図り、需要に応じた生産による安定取引を推進するとともに、品質や生産性の向上に努め、安定的な所得確保を図る。

（２）備蓄米
備蓄用米の需要動向に応じた作付面積を確保する。

（３）非主食用米

ア　飼料用米
飼料用米の需要動向に応じた作付面積を確保し、産地交付金を活用した一般品種・多収性品種の導入推進により品質や生産性の向上を図るとともに、団地化の推進を図りながら、コスト削減による所得確保を図る。

イ　米粉用米
米粉用米の需要動向を踏まえ作付を検討する。

ウ　新市場開拓用米
水稲作付面積を維持・確保していくため、新市場開拓用米の収量の安定化等の取組を進めていき作付面積の拡大を図る。

エ　WCS 用稲
WCS 用稲の需要動向に応じた作付面積を確保する。

オ　加工用米

加工用米の需要動向を踏まえ作付面積を確保する。

（４）麦、大豆、飼料作物

麦・大豆・飼料作物については、湿害を回避するための排水対策の実施、土づくりのための土壌改良材資材の投入や堆肥の施用、野菜や地力増進作物の導入による輪作体系の確立により収量・品質の安定的な生産を確保する。

（５）そば、なたね

そば・なたねについては、湿害を回避するための排水対策の実施、土づくりのための土壌改良材資材の投入、適正施肥による肥料コスト低減など収量・品質の安定的な生産を確保する。

（６）地力増進作物

エン麦、ソルゴー、ヒマワリ、ヘアリーベッチ、クローバー、キカラシ等の導入による輪作体系の確立により収量・品質の安定的な生産を確保する。

（７）高収益作物

野菜、花卉、果樹といった高収益作物全般の生産性の向上を図る。

特にキャベツ「越冬キャベツ」として商標登録され、地域特産品として付加価値が高く、ブランド力を活かした作物の安定的な生産を確保する。

また、南瓜は日本一の作付面積を背景に地域特産品として位置づけており、栽培技術も確立されていることから、作付面積の維持により安定的な生産と所得の確保を図る。

５　作物ごとの作付予定面積等　～　８　産地交付金の活用方法の明細

別紙のとおり

※　農業再生協議会の構成員一覧（会員名簿）を添付してください。

別紙

５ 作物ごとの作付予定面積等

（単位:ha）

作物等	前年度作付面積等		当年度の作付予定面積等		令和８年度の作付目標面積等	
		うち二毛作		うち二毛作		うち二毛作
主食用米	770.1		806		725.0	
備蓄米	0.0		0		0.0	
飼料用米	0.0		0		0.0	
米粉用米	0.0		2.9		0.0	
新市場開拓用米	0.0		14		0.0	
WCS用稲	0.0		0		0.0	
加工用米	0.0		0		0.0	
麦	292.9		290		310.0	
大豆	424.0		415		415.0	
飼料作物	117.1		110		110.0	
・子実用とうもろこし	2.8		2.5		20.0	
そば	263.9		265		290.0	
なたね	13.6		14		17.0	
地力増進作物	5.1		5		30.0	
高収益作物	488.2		489.7		500.0	
・野菜	483.5		485		495.4	
・花き・花木	4.3		4.3		4.2	
・果樹	0.4		0.4		0.4	
・その他の高収益作物	0.0		0		0.0	
その他	37.5		35		52.0	
・てん菜	15.1		15		30.0	
・小豆	5.2		5		2.0	
・菜豆	3.1		3		4.0	
・えんどう	0.0		0		1.0	
・雑穀	14.1		12		15.0	
畑地化	83.0		40		198.6	

６ 課題解決に向けた取組及び目標

整理番号	対象作物	使途名	目標	前年度（実績）	目標値
1	野菜（畑作物産地形成促進事業対象分除く）、花卉、果樹	高収益作物助成	作付面積	（７年度） 野菜・花卉・果樹 488.2ha	（8年度） 野菜・花卉・果樹 500.0ha
2	野菜（畑作物産地形成促進事業対象分）	高収益作物助成	作付面積	（７年度） 野菜・花卉・果樹 488.2ha	（8年度） 野菜・花卉・果樹 500.0ha
3	麦、大豆（黒大豆、種子用大豆含む）、雑穀	輪作形成作物加算	作付面積 作付面積に対する取組実施率 平均単収 （小麦・大豆・雑穀）	（７年度） ［面積・単収］ 小麦（単収：秋小麦） 292.9ha・443.0kg/10a 大豆 423.9ha・250.0kg/10a 雑穀 14.1ha ［取組実施率］ 80.6%	（8年度） ［面積・単収］ 小麦 310.0ha・520kg/10a 大豆 415.0ha・300.0kg/10a 雑穀 15.0ha ［取組実施率］ 90.0%
4	てん菜、小豆、菜豆、えんどう、馬鈴薯（生食・加工用）	輪作形成作物加算	作付面積 作付面積に対する取組実施率 平均単収（てん菜） 平均単収（小豆）	（７年度） 23.8ha 79.8% てん菜　5,970kg/10a 小豆　181.9kg/10a	（8年度） 40.0ha 100% てん菜　6,500kg/10a 小豆　250kg/10a
5	地力増進作物（休閑緑肥）	輪作形成作物加算	作付面積 作付面積に対する取組実施率	（７年度） 5.1ha 53.6%	（8年度） 30.0ha 90.0%
6	麦、大豆（黒大豆・種子大豆含む）、雑穀、てん菜、小豆、菜豆、えんどう、馬鈴薯（生食・加工用）	堆肥散布加算（耕畜連携）	作付面積 作付面積に対する取組実施率 平均単収（小麦）	（７年度） 754.8ha 13.0% 秋小麦　443.0kg/10a	（8年度） 780.0ha 15.0% 小麦　520kg/10a
7	そば、なたね	収量品質安定化助成	作付面積 平均単収	（７年度） そば　263.9ha なたね　13.6ha そば　72kg なたね　254kg	（8年度） そば　290.0ha なたね　17.0ha そば　90kg/10a なたね　340kg/10a
8	新市場開拓用米	新市場開拓用米作付助成	作付面積	（７年度） 作付面積 －ha	（8年度） 作付面積 17.0ha
9	南瓜、キャベツ	地域ブランド作物生産性向上事業	作付面積 取組実施率	（７年度） 作付面積 462.9ha 取組実施率 －%	（8年度） 作付面積 465ha 取組実施率 90%

※　必要に応じて、面積に加え、取組によって得られるコスト低減効果等についても目標設定してください。
※　目標期間は３年以内としてください。

7　産地交付金の活用方法の概要

都道府県名：北海道

協議会名：和寒町地域農業再生協議会

整理番号	使途 ※1	作期等 ※2	単価 （円/10a）	対象作物 ※3	取組要件等 ※4
1	高収益作物助成	1	37,800	野菜（畑作物産地形成促進事業対象分除く）、花卉、果樹	作付面積に応じて支援
2	高収益作物助成	1	24,300	野菜（畑作物産地形成促進事業対象分）	作付面積に応じて支援
3	輪作形成作物加算	1	3,600	麦、大豆（黒大豆、種子用大豆含む）、雑穀	融雪剤散布、心土破砕、土壌診断結果による施肥設計に基づく施肥の実施等
4	輪作形成作物加算	1	27,000	てん菜、小豆、菜豆、えんどう、馬鈴薯（生食・加工用）	融雪剤散布、心土破砕、土壌診断結果による施肥設計に基づく施肥の実施等
5	輪作形成作物加算（休閑緑肥）	1	13,500	地力増進作物	前年度に南瓜、キャベツ、麦、豆類、てん菜の5品目が作付けされたほ場、適切な肥培管理、鋤き込みを行う等
6	堆肥散布加算（耕畜連携）	1	900	麦、大豆（黒大豆・種子大豆含む）、雑穀、てん菜、小豆、菜豆、えんどう、馬鈴薯（生食・加工用）	連携の相手方となる者（畜産農家等）から牛糞等の家畜由来の堆肥原料を購入して生産した堆肥を使用　等
7	収量品質安定化助成	1	18,000	そば、なたね	心土破砕、たい肥施用、明暗渠の施工、心土改良　等
8	新市場開拓用米作付助成	1	18,000	新市場開拓用米	作付面積に応じて支援
9	地域ブランド作物生産性向上事業	1	18,000	南瓜、キャベツ	心土破砕、たい肥施用、明暗渠の施工、心土改良　等

※1　二毛作及び耕畜連携を対象とする使途は、他の設定と分けて記入し、二毛作の場合は使途の名称に「〇〇〇（二毛作）」、耕畜連携の場合は使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携）」と記入してください。
　　ただし、二毛作及び耕畜連携の支援の範囲は任意に設定することができるものとします。
　　なお、耕畜連携で二毛作も対象とする場合は、他の設定と分けて記入し、使途の名称に「〇〇〇（耕畜連携・二毛作）」と記入してください。
※2　「作期等」は、基幹作を対象とする使途は「1」、二毛作を対象とする使途は「2」、耕畜連携で基幹作を対象とする使途は「3」、耕畜連携で二毛作を対象とする使途は「4」と記入してください。
※3　産地交付金の活用方法の明細（個票）の対象作物を記載して下さい。対象作物が複数ある場合には別紙を付すことも可能です。
※4　産地交付金の活用方法の明細（個票）の具体的要件のうち取組要件等を記載してください。取組要件が複数ある場合には、代表的な取組のみの記載でも構いません。

別表１

和寒町で定める地域振興作物の品種

	区分		高収益作物 助成	輪作加算
1	野菜	かぼちゃ	31,500円	
2		キャベツ	（20,200円）	
3		アスパラガス（グリーン）		
4		アスパラガス（ホワイト）		
5		アスパラガス（紫）		
6		いちご		
7		いんげん		
8		えだまめ		
9		オクラ		
10		カリフラワー		
11		きのこ		
12		きゅうり		
13		ごぼう		
14		こまつな		
15		サニーレタス		
16		さつまいも		
17		さやいんげん		
18		さやえんどう		
19		サラダ菜		
20		サンチュ		
21		ししとう		
22		しそ		
23		しゅんぎく		
24		食用ハーブ		
25		食用ゆり(ゆりね)		
26		スイートコーン		
27		すいか		
28		ズッキーニ		
29		スナップエンドウ		
30		セルリー		
31		だいこん		
32		たまねぎ		
33		チコリ		
34		ちんげんさい		
35		とうがらし		
36		トマト		
37		ながいも		
38		なす		
39		なんばん		
40		にら		
41		にんじん		
42		にんにく		
43		ねぎ		
44		野沢菜		
45		はくさい		
46		パプリカ		
47		ピーマン		
48		ブロッコリー		
49		ベビーリーフ		
50		ほうれんそう		
51		みずな		
52		みつば		
53		ミニかぼちゃ		
54		ミニトマト		
55		メロン		
56		ヤーコン		
57		山ごぼう		
58		レタス		

59	花き	アイリス	31,500円	
60		アゲラタム		
61		アザミ		
62		アジサイ（切枝）		
63		アスクレピアス		
64		アスター		
65		アスチルベ		
66		アストランチャ		
67		アスパラガス（観賞用）		
68		アトランティアマヨール		
69		アナベル（切枝）		
70		アネモネ		
71		アマランサス		
72		アリウム		
73		アリストロメリア		
74		アルケミラ		
75		アルブカ		
76		アロニア（切枝）		
77		イキシア		
78		イタリアンルスカス		
79		インパチェンス		
80		ウイキョウ		
81		ウインターグラジオラス		
82		うばゆり(ユリ科)		
83		ウメモドキ（切枝）		
84		エキノプシス		
85		エボタ		
86		エリンジウム		
87		エレムルス		
88		オオデマリ（切枝）		
89		オーニソガラム		
90		オダマキ		
91		オレガノ		
92		カーネーション		
93		ガーベラ		
94		カキツバタ		
95		カスミソウ		
96		かぼちゃ（観賞用）		
97		ガマ(ガマ科)		
98		カラー		
99		カンゾウ		
100		カンパニュラ		
101		きいちご（観賞用）（切枝）		
102		ギガンジウム		
103		キク		
104		菊アスター(キク科)		
105		切葉類		
106		キャラウェイ		
107		キャンディタフト		
108		金風車(キク科)		
109		きんぎょそう		
110		クジャクソウ		
111		グラジオラス		
112		グラスペディア		
113		クリスマスローズ		
114		クレマチス		
115		グロリオーサ		
116		けいとう		

117	花き	小菊	31,500円	
118		コスモス		
119		コティナス		
120		コデチャ		
121		コデマリ		
122		コワニー(ユリ科)		
123		サイネリア		
124		サクラ（切枝）		
125		桜小町		
126		サクラソウ		
127		サリクトラム		
128		サンダーソニア		
129		シオン(キク科)		
130		シクラメン		
131		ジニア		
132		シモツケ		
133		シャクヤク		
134		宿根デージー		
135		ショウブ		
136		シレネ		
137		白妙菊		
138		シンフォリカルフォス（切枝）		
139		スイートピー		
140		スイセン		
141		スカビオサ		
142		スキミア		
143		スズメウリ		
144		スズラン		
145		スターチス		
146		スタキス		
147		スティパ		
148		ストック		
149		ストロベリーコーン		
150		ストロベリースティック		
151		スナップ		
152		スノーボール（切枝）		
153		スピードリオン		
154		スモークグラス		
155		スモークツリー（切枝）		
156		スモグソウ		
157		セダム		
158		セファロフォラ（加工用）		
159		ゼラニウム		
160		セロシオ		
161		セントーレアオリエンタリス		
162		千日紅		
163		センニチソウ		
164		ソリダコタラ		
165		ソリダスター		
166		ダイアンサス		
167		大根草		
168		ダスティーミラー		
169		ダリア		
170		チドリソウ		
171		チューリップ		
172		チョコレートコスモス		
173		ツルウメモドキ（切枝）		
174		てまり草		

175	花き	テマリシモツケ	31,500円	
176		デルフィニウム		
177		とうがらし（観賞用）		
178		トリカブト		
179		トリトマ		
180		トルコギキョウ		
181		トロリウス		
182		ナス（観賞用）		
183		ナデシコ		
184		ナナカマド（切枝）		
185		ナルコユリ		
186		ニゲラ		
187		ネマヘラソウ		
188		ネムリヒメ(アヤメ科)		
189		ネリネ		
190		バイカウツギ（切枝）		
191		ハス		
192		とうきび(観賞用)		
193		ハナナス		
194		パニカム		
195		パプチシア		
196		ハボタン		
197		バラ		
198		バラ実もの（切枝）		
199		パンジー		
200		ビオラ		
201		ビブルナム		
202		ヒペリカム（切枝）		
203		ヒマワリ		
204		ヒメヒコダイ		
205		ヒメヒマワリ		
206		ヒャクニチソウ		
207		ピンピネラ		
208		フェンネル		
209		フサスグリ（切枝）		
210		ふじなでしこ		
211		フジバカマ		
212		プッチーニ(ウリ科)		
213		ブプレウルム		
214		フリージア		
215		ブルースター		
216		ブルースプレー		
217		ブルビネラ		
218		フロックス		
219		ベコニア		
220		ペチュニア		
221		ベニバナ（カルタムス）		
222		ヘリクリサム		
223		ヘレニューム		
224		ベロニカ		
225		ポインセチア		
226		ホオズキ		
227		ボタン		
228		ホトトギス		
229		マーガレット		
230		マトリカリア		
231		マンサク		
232		ミズヒキ		

233	花き	ミナズキ（切枝）		31,500円	
234		ムギ（観賞用）			
235		ムスカリ			
236		紫式部（切枝）			
237		メコノプシス			
238		メロン（観賞用）			
239		モナルダ			
240		モルセラ			
241		ヤナギ（切枝）			
242		ヤマゴボウ			
243		山ブドウ(ブドウ科)			
244		ユーカリ			
245		ユーストマ			
246		ユーパトリウム			
247		ユーホルビア			
248		ユキヤナギ(バラ科)			
249		ユリ			
250		洋ラン類			
251		ラークスパー			
252		ライラック（切枝）			
253		ラナンキュラス			
254		ラベンダー			
255		ラムズイヤー			
256		リアトリス			
257		リナリア			
258		リオン			
259		リシマキア			
260		リンゴ（観賞用）（切枝）			
261		リンドウ			
262		ルドベキア			
263		ルリタマアザミ			
264		レースフラワー			
265		ローズマリー			
266		ロマネスコ			
267		ワレモコウ			
268		利休草			
269		切り花	アジサイ		
270			アナベル		
271			アロニア		
272			ウメモドキ		
273			オオデマリ		
274			きいちご（観賞用）		
275			サクラ		
276			シンフォリカルポス		
277			スノーボール		
278			スモークツリー		
279			ツルウメモドキ		
280			ナナカマド		
281			バラ実もの		
282			ヒペリカム		
283			フサスグリ		
284			ミナズキ		
285			紫式部		
286			ヤナギ		
287			ユキヤナギ		
288			ライラック		
289			リンゴ		

290	果樹 (新植から７年目までとする。)	ブルーベリー	31,500円	
291		グーズベリー(すぐり)		
292		ハスカップ（ｸﾛﾐﾉｳｸﾞｲｽｶｸﾞﾗ)		
293		マルメロ		
294		アロニア		
295		ラズベリー		
296	地力増進作物	えん麦		11,200円
297		とうもろこし		
298		ソルガム		
299		イタリアンライグラス		
300		ギニアグラス		
301		スーダングラス		
302		アカクローバー		
303		アルサイククローバー		
304		クリムソンクローバー		
305		ベッチ類		
306		ペルコ		
307		カラシナ類		
308		レバナ		
309		はぜりそう		
310		マリーゴールド		
311		ひまわり		
312		キガラシ		
313		ステビア		
314		ナタネ		
315		ヘイオーツ		
316		ライ麦		
317	雑穀	あわ		2,700円
318		ひえ(アマランサスを含む)		
319		きび類		
320		ハトムギ		
321		子実用えん麦		
322		たかきび(こうりゃん)		
323		八列とうきび		